



# あらかわ区報 Jr.

ArakawaKuhō Junior

平成27年9/14

発行 荒川区●23,000部発行  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111



## 災害に強い“あらかわ”を目指して 防災部、始動!

区では、中学生が防災意識を高め、地域の防災ジュニアリーダーとして活躍するため、平成27年度から区内すべての中学校に防災部を創設しました。今号では、すでに始まっている防災部のさまざまな活動を紹介します。

問合せ 教育委員会指導室 ☎内線3384 / 防災課 ☎内線418



目指せ! 地域の防災ジュニアリーダー!



▲今回のジュニア記者は、第一中学校2年生で防災部に所属する、(左から) 田中空くん、石井小暖さん、浅沼優利さん、清板翼くん。本所防災館で体験学習にチャレンジしました

### 防災部の活動目標

- ◆D級ポンプ操作訓練や地域の防災訓練への参加  
いざという時に動けるのは、日ごろの訓練から。
- ◆ジュニア防災検定にチャレンジ!  
中学3年生までに、全員の上级取得を目指す。
- ◆交流都市・釜石市立中学校との交流!  
震災の実体験に触れ、防災について学ぶ。
- ◆防災運動会への参加

平成28年3月5日(土) 荒川総合スポーツセンターで開催予定。地域防災力の向上を図る。

災害が発生した時に大事なことは、まず自分の身を守り、自分の力で「生き延びること」です。そのためには、過去の災害でどのような被害があったのかを「知ること」と、それを「忘れないこと」が大切。そして、困っている人に手を差し伸べる「思いやりの心と勇気」を持ちましょう。災害時には、こうした「自らの生命は自らが守る」という自助の精神と、「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助の精神が重要になります。このような考えを身につけて、地域防災の担い手になってください。



本所防災館館長  
福嶋和明さん



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は11月に発行する予定です

どんどん広がる！

色々な活動をしているよ

# 防災部活動レポート

あらかわ 防災部

**8月3日・4日**

岩手県釜石市など  
被災地訪問

全区立中学校

岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」を見学。津波の直撃を受けても立ち続けた一本の松は、現在も震災からの復興の象徴として保存されています

東日本大震災の津波で被害を受けた宮城県南三陸町旧防災対策庁舎を訪問

津波が起きた場合の心構えを学びました

岩手県釜石市立釜石東中学校の生徒から実体験を聞き、今後のことを考えました

**7月26日**

永久水利施設を活用した  
遠距離送水訓練

リレー方式により、500メートル先まで水を送ります

中継地点となる公園にある防火水槽に水を補充。震災時の消火活動では、こうした活動が必要です

地域との連携は、防災の基本です

**7月17日**

D級ポンプ  
操作訓練

D級ポンプのエンジンをかけるには、かなりの力が必要。なかなかエンジンがかからず苦労する場面もありました

尾久消防署の職員さんから放水方法を教わりました。踏ん張る姿勢が大切

**5月30日**

総合水防訓練

南千住第二中学校

バケツリレーによる排水作業。みんなががんばりました

水害を想定して、倒壊家屋や水没した車両からの人命救助の訓練も行いました。けが人の搬送は、息を合わせることが重要。日々の活動の成果を十分に発揮していました

**7月26日**

第一・第四中学校

日ごろの防災訓練がいざという時に役立つんだ

周りをよく見れば逃げ道が分かるんだ

モニターで見守るガイドの山村さんが「誘導灯を探して」とジュニア記者にアドバイス

「地震時には30～50%の人が家具の転倒・落下だけをするので、対策はとて大切」と福嶋館長から教わりました

防災について学べるよ！

# 災害について学ぼう！

あつくん すみちゃん

**地震体験**

揺れが激しく動くことができず、テーブルの足につかまっているのが精一杯。揺れが収まったら、外の様子を確認し、座布団などで頭部を保護して避難

煙を吸わないようにハンカチで口を押さえて避難。暗いうえに煙で前がよく見えないので、慎重に進みます

**煙体験**

大地震に遭遇した中学生が、友だちや地域の人々と協力して災害に立ち向かう「Be Alive 生きる 首都直下 M 7.3」という映画を鑑賞。大地震の時、自分たちに何ができるのか、考えさせられました

**都市型水害体験**

洪水で建物の外に水がたまるとドアがどのくらい重くなるかを体験。水圧は想像以上に強いので、水深10センチでもドアを開けるのはひと苦勞

**防災シアター**

大地震に遭遇した中学生が、友だちや地域の人々と協力して災害に立ち向かう「Be Alive 生きる 首都直下 M 7.3」という映画を鑑賞。大地震の時、自分たちに何ができるのか、考えさせられました

**防災展示見学**

本所防災館インフォメーション

所在地 東京都墨田区横川4-6-6

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 水曜日・第3木曜日（国民の祝日に当たる場合はその翌日・年末年始（12月28日～1月4日））

問合せ 東京消防庁本所都民防災教育センター（本所防災館）

☎（3621）0119

**火災について学ぼう！**

火災を防ぐために避難の前に必ず火を消す。合わせてブレーカーも落としましょう

まずは身の安全を守ろう！

**高まっている水害の危険性**

火災や地震のほか、近年、水害の危険性が高まっています。福嶋館長は「自分たちの町で、どんな場所に水がたまりやすいのか洪水ハザードマップで確認しておきましょう」と注意を促しました。

**異常気象エリア**

気象災害の危険性が高まっていることや、川の地域の水害への対策について学びました

火事や地震に遭った時の対処法は？

年間約11万人が訪れる本所防災館。この日も多くの来場者でいっぱい。ジュニア記者も、福嶋館長から防災館の説明や災害に対する心構えを聞いて体験学習をスタート。火災の煙体験コーナーでは、ガイドの山村さんから「避難する時の合い言葉、おかしもを知っているかな？」と聞かれ、ジュニア記者は「押さない」「駆けない」「しゃべらない」「戻らない」と元気に回答。「では、煙の気を安全に避難してください」と、白い煙が視界を遮る迷路にチャレンジ。煙を避けて姿勢を低くして歩くため、まわりがよく見えません。迷いながら非常口を

日ごろの防災訓練がいざという時に役立つんだ

周りをよく見れば逃げ道が分かるんだ

モニターで見守るガイドの山村さんが「誘導灯を探して」とジュニア記者にアドバイス

「地震時には30～50%の人が家具の転倒・落下だけをするので、対策はとて大切」と福嶋館長から教わりました

高まっている水害の危険性

火災や地震のほか、近年、水害の危険性が高まっています。福嶋館長は「自分たちの町で、どんな場所に水がたまりやすいのか洪水ハザードマップで確認しておきましょう」と注意を促しました。

異常気象エリア

気象災害の危険性が高まっていることや、川の地域の水害への対策について学びました



# 学校訪問

## 部活動



練習後はまじめに行い、顧問の先生から話を聞きます

## 第九中学校

東尾久2-23-5

生徒が部活動を紹介します  
ソフトテニス部

今年4月から新しい顧問の香山先生が来てくださり、昨年と比べて部活に活気が出てきました。他の学校より人数が少ない分、部活中や大会の応援では全員が大きな掛け声や応援を心掛けています。また、九中ソフトテニス部は男女や先輩後輩関係なく、とても仲良くアットホームな雰囲気です。そして、

私たち荒川九中ソフトテニス部は、男子3年3名、男子1年4名、女子3年6名、女子2年4名、女子1年3名、計20名で活動しています。活動日は水曜日を除くほぼ毎日、土日には他校との合同練習や練習試合をしています。



まずは基礎練習が大切

個人では男子が区でベスト16に入るという結果を出すことができました。ですが、団体では男女どちらもあまりよい結果ではありませんでした。そのため、次の公式戦ではどちらも都大会に行けるようにと、顧問の野内先生、香山先生のご指導のもと、日々練習に取り組んでいます。これからも応援よろしくお願ひします。

執筆3年 大友ひなの

## 学校自慢

## 瑞光小学校

南千住1-51-1

学校の自慢を児童が紹介します



瑞光の校庭は、夏と秋に芝生の養生を行います

瑞光小学校は、今年で創立128周年です。瑞光の自慢のところはたくさんありますが、その中で3つ紹介します。まずは、学校図書館です。瑞光ライブラリーには物語の絵本などがたくさんあります。発見ライブラリーには、図鑑、科学の本、生き物の本などがあります。

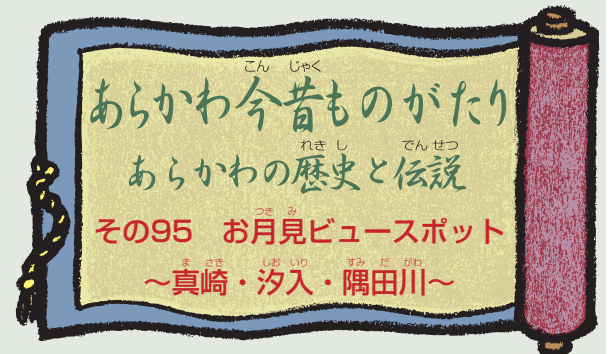


瑞光ライブラリーでは、司書の先生が優しく本の説明をしてくれます

この2つの図書館を使い分けると、とても勉強がはかどり、ちよつとした休息もでき、充実した学校生活を送ることができます。

次に、瑞光の森です。瑞光の森はたくさん自然があり、生徒が親しんでいる場所です。そこには16本の木があります。木登りをしたり、暑い日には自然観察をして涼んだりできる場所です。最後は、校庭です。芝生は夏休み中、養生期間中でした。養生期間は1年に2回あります。養生が終わると、芝生はとても良く生えてきれいに整えてあるので、転んでもいたくありません。校庭は広いので、みんなでたのしく遊ぶことができます。芝生は瑞光小学校の自慢の一つです。

執筆6年 有光優 多田悠人 渡邊弥子 加賀雄大 藤陽 戸村美乃里 北野航 基 松本夏奈 丸茂綾音



あらかわ今昔ものがたり  
あらかわの歴史と伝説  
その95 お月見ビュースポット  
～真崎・汐入・隅田川～

う台に盛り、薄と共にお月さんにお供えたそうだよ。お月見の日には、子どもがお供えを取って食べてもよいとされてきたので、果物やお団子等のお供えをご近所に取に行ったんだって。

## 「実りの秋」とお月見

「秋」というと、「食欲の秋」、そして「実りの秋」。秋は、四季の中でお野菜・果物・お米等の穀物がたくさん収穫されるから「実りの秋」というんだね。秋の代表的な行事・お月見には、秋の実りがお供えられるよね。

大正生まれの町屋のおじさんによると、採れたての里芋・栗・柿、団子を三万とい

言って、縁起が悪いと考えられていたんだって。昔の人は季節ごとの行事を大切に



区内の中学軟式野球チーム「荒川レジェンド」が、第15回 U15全国 KWB 野球選手権大会東京都予選大会に出場、優勝を果たしました。7月31日、西川区長を訪問した選手たちは、都大会優勝を報告。また、東京都代表として出場した全国大会でも力を発揮しました。

## 尾久八幡中学校卓球部 全国中学校卓球大会に出場

8月19日、「第46回全国中学校卓球大会」出場の尾久八幡中学校卓球部の壮行会が区役所で行われました。全国でも強豪校として名を馳せ、今年で全国大会13年連続出場を誇る尾久八幡中卓球部は、男子団体と、個人戦に男女合わせて5人が出場しました。

▼全国大会での活躍を願って エイ・エイ・オー！



▲西川区長からも熱いエールがありました

## 文豪一押しのお月見

明治の文豪幸田露伴さん



▲良夜墨月「東都蔵事記」(荒川ふるさと文化館蔵)

は、汐入迎りでのお月見が気に入らなかつた。汐入付近の隅田川は川幅が広い上に、十五夜の大潮により海水が川を遡り、水面が大きく膨らむんだ。そこに映った月とはとても大きく見えるそうだ。広い東京の中でも汐入の名月ほど素晴らしい光景は無いだろうと絶賛しているよ「蝸牛庵夜譚」。

問合せ 荒川ふるさと文化館 (3807) 9234